

事業番号	07 07 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	雇用促進のための対策事業費			部局	産業労働部	課・室	労働雇用課
				実施期間	H10～	E-mail	rodokoyo@pref.nagano.lg.jp
次期総合5か年計画（答申書）との対応関係							
政策の柱	誰にでも居場所と出番がある社会をつくる			創造的で強靱な産業を育てる			

1 現状と課題

・新型コロナウイルスの影響等により地方回帰の機運が高まり、令和4年3月卒のUターン就職率は36.5%と、コロナ前（令和2年3月卒）に比べて2.7%上昇しているものの、目標には届いていない状況となっている。

・就職困難者をはじめ新型コロナウイルスの影響等による失業者や、障がい者、女性、若者等に対する就業支援により、有効求人倍率は1.58倍（令和4年9月時点）と着実に改善が進んでいるところではあるが、引き続き新型コロナウイルス感染症や国際情勢の動向が雇用に与える影響を注視しながら継続的な支援を実施していく必要がある。

2 事業目的

労働力人口が減少する社会において、若者、女性、障がい者、高齢者、外国人等の就業支援により、県内の就業者数を維持し、産業を担う人材の確保を図る。

3 事業目的を達成するための取組

- ①NAGANOで働く魅力の発信
 ・長野県へのU I ターン就職を促進するため、県内企業の情報等を発信できるインターンシップ・業界研究フェアをオンラインと現場で開催する等、ウイズコロナ時代に即した支援を就活早期の段階から実施する。また学生に「選ばれる」企業を増やしU I ターン就職を促進するため、奨学金返還支援制度導入企業に対するサポートを実施する。
- ②失業者や就職困難者等に対する支援
 女性や就職に困難を抱える若者、障がい者等に対して職業紹介やセミナー実施等の就業支援を行うとともに、就労について総合的にサポートするための事務局（地域就労支援センター（仮称））を設置し、就業に関する悩み等に対して寄り添った伴走型の支援を実施する。
- ③ジョブカフェ信州における支援
 就職氷河期世代を含めた若者の就職を促進するため、ジョブカフェ信州においてキャリアコンサルティングの手法を活用した就職支援サービスを提供する。また、県外進学者のU I ターン就職を促進するため、銀座NAGANOとオンラインで就活に関する相談をすることができる、県外学生等を対象とした就職相談窓口を運営する。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	県内出身学生のUターン就職率	%	38.4	36.5	↘	40.0	↗	40.0	△	直近5年間の最高値が39.5%（H30.3卒）であるため、それを上回ることを目標として40%を目標とする。	
②	はたらく女性応援プロジェクト事業参加女性の就職者数	人	278	266	↘	300	↗	300	△	前年度までの実績及び事業者ヒアリングに基づいた目標とする。	
③	ジョブカフェ信州利用者の就職者数	人	626	1,060	↗	1,100	↗	1100	△	ウイズコロナの時代となり、窓口の利用者数が回復することから過去5年間の最高実績を上回る数として1,100人を目標とする。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算	合計			
					うち一般財源		
R5年度	(予算案)				0		8.0
	(要求)		450,768		450,768	326,768	
R4年度	0	322,312	4,389	326,701	136,648		12.6
R3年度	0	947,622	△ 489,191	458,431	119,267	406,138	14.6

事業名	雇用促進のための対策事業費	部局	産業労働部	課・室	労働雇用課
-----	---------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	雇用促進のための対策事業費	947,622 千円	322,312 千円	(予算案) (要求) 450,768

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	NAGANOで働く魅力発信事業費	直接 委託 補助金	・県内企業へのインターンシップに参加する学生の交通費等を補助（NAGANOインターンシップ補助金）、オンラインと会場でインターンシップ・業界研究フェアの開催、 ・シュカツNAGANO応援隊と学生の交流会開催、奨学金返還支援制度導入企業への支援実施等 インターンシップ補助金支給200人、イベント出展企業120社、奨学金返還支援100名
2	「暮らす・働くフェア」バージョンアップ事業	委託	・信州暮らし推進課・労働雇用課が連携し、従来県内自治体・団体がブースを出展して開催していた「暮らす・働くフェア」に県内企業も出展することで、長野県内で「暮らす・働く」ことについて具体的かつワンストップで相談できるイベントにバージョンアップする イベント出展企業40社
3	ライフスタイルPRを通じた信州回帰推進事業	委託	・長野県移住総合Webメディア「SuuHaa（スーハー）」を中心に長野県で「暮らす」「働く」「つながる」といったライフ・ワークスタイルに関するウェブ用記事コンテンツ制作及び関連情報の発信を行う。 「働く」に関する記事作成5本
4	プロ人材就業補助金交付事業費	直接 補助金	・県内企業等が、県外から専門的な能力や経験を有する人材を、長野県プロフェッショナル人材戦略拠点を通じて採用した場合に、給与費の一部を助成 補助金支給件数25件
5	UIターン就業・創業移住支援事業費	直接 補助金 委託	・東京圏、愛知県及び大阪府から県内へ移住した者が、一定の要件を満たす県内企業等へ就職又は創業した場合に、移住に要する経費を市町村が助成する費用の一部を補助 ・県内企業等の求人を掲載したマッチングサイトを委託により運営 補助金交付件数（移住世帯数）250件（250世帯）
6	はたらく女性応援プロジェクト事業費	委託	・女性の就業支援員を配置し、子育て中の女性等に対する就業相談・セミナー・インターンシップ等による再就職支援。職域拡大イベントや先輩女性との座談会、県内企業従業員を対象とした就業継続支援セミナーを開催 就職者数300人（うち正規雇用180人）、合同企業説明会参加者数300人
7	障がい者雇用優良事業所等知事表彰事業	直接	・障がい者雇用優良事業所等知事表彰事業を関係機関と連携して、「障がい者雇用フォーラム」として実施 障がい者雇用フォーラム開催1回
8	障がい者職場実習支援事業費	直接	・特別支援学校等の生徒を職場実習で受け入れた事業所へ助成 年度内に一般就職を目指す学生の就職100%
9	障がい者雇用支援事業費	委託 補助金	・障がい者雇用に取り組む企業のためのセミナー/企業見学会の開催及び個別相談支援を実施。その他、障がい者を雇用していない企業が、新たに障がい者を雇用した場合に助成金の交付、障がい者雇用に関する情報ポータルサイトの運営を実施。 事業参加企業における新規雇用障がい者数30名、新規障がい者雇用企業10社
10	地域就労支援センター事業費	委託	・女性や就職に困難を抱える若者、障がい者等に対し、総合的に対応できる事務局を設置し、就業に関する悩み等に対して寄り添った伴走型の支援を実施 本事業による就職者数1,000名

11	シルバー人材センター支援事業費	補助金	・高齢者の多様な就業機会を確保するため、長野県シルバー人材センター連合会が実施する各種事業や会員の獲得事業を支援
			補助金支給額6,638千円
12	シニア就業支援事業	直接	・職に就いていない高齢者の掘起し及び関係機関との連携による就業促進
			「生きがい就労講演会」開催2回
13	外国人の就業促進事業費	委託 負担金	・外国人材の受入れに関する企業向け相談窓口を運営
			・留学生就職促進プログラムコンソーシアム総会に参加し、プログラムの運営を支援
			・外国人材受入企業サポートセンター利用企業数 267社（令和3年度）
14	ジョブカフェ信州運営事業費	直接	・キャリアコンサルティング、セミナーの実施
			・ミニジョブカフェ、出前講座等出張サービスの実施
			・若年者就労実体験（ジョブチャレ）の実施
			・移住・交流センター（銀座NAGANO）内において、学生等を対象とした就職活動相談窓口を設置・運営
			ジョブカフェ信州サービス利用者数 15,000名